

長田恒雄 詩人。明治二十五年十一月十七日静岡縣生れ、昭和五十二年二月二十日歿（六九一七）。東洋大學中退。出版社勤務など。出版『主宰』。

- 著書、歌謡集『二角州』（月原橙一郎、都築益世編、昭和八年十一月十五日東北書院）、『現代詩・昭和十七年春季版―國民詩特輯』
- 『合著・日本詩人協會編、昭和十七年八月、二十日河出書房』、『詩と郷土』（昭和十七年十一月十日大東堂六論社）、『新日本詩選愛國の詩』（合著・村上成實編、昭和十八年四月、千五百大阪・大和出版社）、『少國民詩・年刊Ⅰ』（合著・日本少國民文化協會編、昭和十九年一月五日帝國教育會出版部）、『現代詩・昭和十八年秋季版』（合著、現代詩會編、昭和十九年一月、千五百大阪・輝文館）、『國民詩讀本』（昭和十九年九月十五日鶴町酒井書店「勤勞青年文庫」）、『新女性手帖』（編、昭和二十一年四月、千五百出版文化集團）、『現代語訳數異抄』（昭和二十九年十一月、千五百在家仏教協會）、『親鸞の詩と書簡』（昭和二十一年十一月、千五百在家仏教協會）、詩集『東京』（昭和二十八年十月一日現代詩研究所）、『心の蓮如』（昭和二十九年四月一日宝文館出版株式会社）等。

